

令和5年度 花園こども園 自己評価分析と今後の課題

園内評価より	
I 保育の計画性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「できている」と評価する職員がほぼ全員。自覚をもって保育の計画性を立案している姿がうかがわれる。</li> <li>・園長や主任との話し合いも増え、保護者に対して説明ができるという回答が、8割を超え増加した。</li> <li>・評価が低く、無回答の職員へのフォローが必要。</li> </ul>
II 保育の在り方、幼児への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもへの関わりは全体的に評価が高い。</li> <li>・その中でも「禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせる言葉や態度はできるだけ控えている」が昨年度に比べ「できている」と回復。不適切保育に関する研修等の効果だと思われる。</li> </ul>
III 保育者としての資質や能力・良識・適性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの職員が、保育者としてのマナーや義務の理解、組織の一員としての自覚は有と評価。</li> <li>・「あまりできていない」と回答している職員についてフォローが必要。</li> </ul>
IV 保護者への対応・守秘義務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね保護者への対応守秘義務についての評価は高い。</li> <li>・協力と支援の「必要な場合は、自園の苦情解決システムについて保護者に説明できる」について昨年度に引き続き、評価は上がったが、「あまりできていない」と評価した職員に対する周知が必要。</li> <li>・長期欠席者に対する対応を「あまりできていない」と4分の1が回答。該当する児童がいなかったためと推察される。</li> </ul>
V 地域の自然や社会との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人々との挨拶などは「できている」と評価。</li> <li>・小学校との連携について評価がばらついており、「園の保育内容が小学校以降の学習の基盤の育成につながることをほとんどの職員が理解しているが、具体的にどうすればいいのかが不明瞭なためだと思われる。</li> </ul>
VI 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内の環境に関する専門性について昨年度約半数が「あまりできていない」と回答したが3分の1まで回復。園内研修の効果が見られる。</li> <li>・環境構成にもつながるが、外部講師を招いての環境についての園内研修を重ねた結果、専門性に関する意欲態度が向上したようである。</li> <li>・保育の専門知識以外への関心について高い評価が多かった。</li> </ul>
VII 保育の在り方、3歳未満児への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての項目において「できている」という評価が多くみられる。</li> <li>・回答し忘れなのか、無回答が目立つ。職員に対する注意喚起を行う必要がある。</li> </ul>

利用者評価より	
★家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園に対し好意的な回答が多い。しかし職員からの園での様子の伝達は「思わない」「どちらともいえない」を合わせると3割弱と昨年度に比べて増加、対応が十分ではないことが伺われた。職員にも結果を周知し、「なぜそうなっているのか」について話し合う。</li> <li>・子育ての悩みについても保育者に相談できると回答した家庭が9割弱。保育者の自己評価とも一致する。</li> </ul>
★カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の基本方針や保育方針に関して、「知っている」「少し知っている」との回答が9割。また、わが子が充実した園生活を過ごしていると感じている家庭も8割強。</li> <li>・園が子どもの人権を守っており大切にしているという評価は9割強、園内の評価とも一致する。</li> </ul>
★環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内の清掃環境、雰囲気に関しては高評価であるが、「どちらともいえない」という回答が、昨年度に引き続き1割程度。園内には入れるようになっても減らない原因を職員内で検討すべき。</li> <li>・保育者のコミュニケーションや言葉遣い、あいさつについても概ね評価が高いが、昨年度と同様に1～2割程度「気になる」「どちらともいえない」がみられる。</li> <li>・保育者側が自己満足に終わることなく、利用者との関わりを振り返る必要あり。</li> <li>・全般的に昨年度より評価が厳しいものが多い。原因分析を自由回答等で行い、園全体で改善に努める必要がある。</li> </ul>